

## 88年3月18日の皆既日食ツアー状況(その2)

大越 治

今までは、ツアーの情報を紹介し、読者の皆さんの判断材料にさせていただこうという主旨で、ツアーの条件のみを書いてきましたが、今回は多少のコメントを付けてみたいと思います。

NO2発行時点では未確定だったツアーが、続々と正式発表になりました。

### 【船による観測計画】

- (1) 日食観測と小笠原6日間クルーズ～最少催行人数380名

企画：読売新聞社

主催：読売旅行 〒104 中央区銀座2-2-15 Tel 03-567-8321

使用船：にっぽん丸(9745t)・東京港発着

期 日	時 間	コ ー ス
3月16日(水)	07:00	東京港(晴海)集合・乗船手続
	08:00	出港
17日(木)	終 日	〰 洋上 〰 (船内イベント他)
18日(金)	10:00	〰 POINT・日食観測 〰
19日(土)	07:00	小笠原 着・停泊
		オプション：父島観光 ●海水浴●釣り●ダイビング他 ご自由にお楽しみ下さい。
	17:00	小笠原 発
20日(日)	終 日	〰 洋上 (船内イベント、サヨナラパーティ他)
▼21日(月)	08:00	東京港(晴海)着・解散

キャビンクラス	デッキ	タ イ プ	金 額
S 室	704	2名定員 専用シャワー・トイレ付	220,000円
A 2 室	A	2 " 共用シャワー・" "	180,000円
A 4 室	A	4 " " " "	138,000円
B 2 室	B	2 " " " "	159,000円
B 4 室	B	4 " " " "	110,000円
C 1 室	C	4 " " " "	98,000円
C 2 室	C	4 " " " "	85,000円

※小人(小学生は30%引き)

- (2) 皆既日食・洋上観測とサイバンの旅～最少催行人数200名

企画：星の手帖・編集部

主催：日本通運(株)虎ノ門旅行支店海外旅行第3課

〒105 港区虎ノ門1-16-2 千代田ビル

Tel 03-501-8681

使用船：プリアムーリエ号(4900t)・横浜港発着

注意：三脚利用者は、先着150名に限定(場所割当は抽選)

日程： (宿泊は、サイパンも含め全船中泊です。)

	月日	曜	都 市 名	時間	備 考
1	3月16日	水	横浜港発(予定)	朝	船にて横浜港より出航
2	3月17日	木	お		
3	3月18日	金	ポイント(小笠原近海)	午前	小笠原近海にて皆既日食海上観測
4	3月19日	土	お		
5	3月20日	日	サイパン着	午前	夕食、サイパン半日観光 OP:サイパン昼夜観望
6	3月21日	月	サイパン発	午後	出航まで自由行動
7	3月22日	火	(		(
8	3月23日	水	お		船内にて各イベント
9	3月24日	木	)		)
10	3月25日	金	横浜港着(予定)	午前	滞泊後、解散

船 室 / 旅 費		観望のみ及び、手持ちカメラだけの方	三脚利用の窓通観及び、カメラをご使用の方
ツーリスト⊕	6人部屋・共用シャワー・共用トイレ(定員95名)	¥119,000	¥135,000
ツーリスト⊗	4人・ ・ ・ (定員92名)	¥139,000	¥155,000
ファースト⊕	2人・ ・ ・ (定員40名)	¥169,000	¥185,000
ファースト⊗	2人・ ・専用シャワー・専用トイレ(定員24名)	¥209,000	¥225,000

(3) 小笠原皆既日食観測クルーズ～最少催行人数300名

企画：協栄産業株式会社

主催：日本交通公社(問い合わせは協栄産業各店へ)

使用船：ゆうとぴあ・神戸港発着

クラス	旅行代金	設備
エコノミー	¥58,000	和室
2等	¥75,000	8人部屋 (2段ベッド)
1等	¥118,000	2人部屋 (TV・シャワー)
特等	¥148,000	2人部屋 (TV・バス・トイレ)

注意：食事は別料金

月日	スケジュール		
3/16(水)	神戸港	11時 13時	受付開始 1万トン級豪華客船 ゆうとぴあで皆既日食観測へ (船中泊)
3/17(木)	洋上		船内及び船上にて各種備物を 予定しております (船中泊)
3/18(金)	洋上	10時 13時	皆既日食帯中心にて観測 観測終了後小笠原諸島支島へ (船中泊)
3/19(土)	父島 二見港着 二見港発	9時 18時	父島上陸後自由行動 再乗船 (船中泊)
3/20(日)	洋上		各種備物を予定しております (船中泊)
3/21(月)	神戸港	10時	着後解散

(4) 皆既日食と小笠原クルージング～最少催行人数250名

主催：(株)日本旅行 〒530 大阪市北区曽根崎2-12-7 梅田第1ビル8階

Tel 06-312-6991 075-371-2491 078-242-1098

使用船：さんふらわあ7・神戸港発着

クラス	旅行代金	特等C (2段ベッド)	88,800円
スペシャルエコミー 和室	54,800円	特等B (ツインベッド)	115,800円
2等2段ベッド・TV	66,800円	特等A (ツインベッド・TV)	130,000円
1等2段ベッド・TV	75,800円	特等DX (ツインベッド・TV)	150,000円

注意：

食事は別料金

日次	行程
3/15火	神戸港(中突堤) 22:30までに神戸港船客待合室で受付後 23:00発 豪華クルーザー「さんふらわあ7」で小笠原へ 船中泊
3/16水	洋上 船内及び船上にて各種催物をお楽しみください。 映画・ビンゴゲーム大会 星座教室・デッキゴルフ等 船中泊
3/17木	小笠原・父島・二見港 8:00頃着 父島上陸後、海水浴、釣、島内めぐり等自由行動 二見港 17:00頃発 離島後皆既日食帯へ (船中泊)
3/18金	洋上 皆既日食帯で日食を見よう(10:00頃～12:35頃) 船中泊
3/19土	洋上 船内及び船上にて、デッキゴルフ等自由にお過ごしください。(船中泊)
3/20日	神戸港(中突堤) 16:00頃着

【陸上での観測】

別稿で述べているように、皆既帯はスマトラ・ボルネオ・ミンダナオの島々を通ります。しかし、気象学的条件・政治的条件によって、まだ具体的な計画は発表されていません。天文雑誌には下記の広告が出ていました。

「フィリピン皆既日食ツアー計画中」

さくぼうげつ

【飛行機での観測】

当初の、羽田発・羽田着の完全1日コースは、航空管制上むずかしいということで、現在、グアムまたはサイパンに行き、その行きか帰るかどちらかで観測をする方針で交渉中です。

1万m上空なので、地上より数倍広がったコロナを確実に見られる点と、1泊2日の短期間が特徴ですが、写真撮影が難しいのと、割高が欠点です。1人20万円程度にしたいのですが、実際に何人くらいの参加者がいるかわからないと、チャーターが可能かどうかわかりません。

### 【日食ツアーの乱立について】

大きな日食が起こると、多くの観測ツアーができます。そして次の日食もまたしかり。観測に行こうとする人々が最も注意しなくてはならないのは、こういう時です。

1983年には、千人以上が多くのツアーで出かけました。そして、翌84年5月の日食では5つのツアーがすべて人が集まらずに不成立。かろうじて、情報を得た人だけが集まって、新しいツアーを作りました。同年11月の日食も同様に、2つのツアーのみが成立しました。どちらの日食も、申込みはしたがツアーの不成立を言いわたされ、行きたかったのに行けなくなってしまった人々があります。今年5月の金環食の場合もそうです。中国行きツアーの不成立によって、沖縄に鞍替えしようとしても間に合わず、結局、金環を見られなかった人もいたとか。旅行社は、自社ツアーの人数の集まりが悪くても、それでは他社と合同してでも成立させましよう、とは言いません。(84年11月は珍しいケースでした) 絶対大丈夫ですと言いつつ、どたん場で不成立となる事の方が多いのです。

さて、来年3月の日食についてはどうでしょう。年度末であるあの時期に、多くの日数の休暇を取れる人は少ないでしょう。おそらく学生が主になると思われます。現在までに募集しているのは船のツアーですが、いずれも最少催行人数というものがあります。4つ全部が成立するためには最低でも1130名の申込みが必要です。

今後募集が開始される陸上や飛行機にも人が流れるとすれば、船のツアーのどれかは必ずつぶれると見るのは乱暴すぎるでしょうか。

旅行社の方へのお願いは、自社ツアーが不成立の場合、ぜひ他社と話し合っ、合流の道を残してほしいということです。長い目で見れば、それが社の信用につながるはずで。

また、観測者の方も問題がないわけではありません。安全を見るつもりで、何社にも申し込みをしている人がいます。キャンセル料が無料または安い時に取り消せば良いと思っているのですが、そういう人の存在が旅行社の見積りを狂わせ、他の多勢の人に迷惑をかけることになるのです。

いずれにしろ、88年3月の日食は、日本に近いとはいえ、9月の金環とはかなり条件が違うということを忘れてはいけません。9月の金環ほど多くの人が出かけることはあり得ないと言ってよいでしょう。

観測に出かけようと思っている人は、その辺をよく見きわめて、自分自身が確実に取れる休暇・使えるお金・観測の目的を慎重に考えて、自分に最適のツアーを選ぶか、あるいは自分で作り出すかして下さい。

特に今回の日食では、天文学的・気象学的条件の他に、政治的・経済的条件という、我々には苦手な条件が加わってくるので、よほどの注意が必要です。

すでにごらんになった方もいらっしゃると思いますが、読売新聞の7月15日の記事に、下の  
ようなものがありました。これがフィリピンへのツアーにとって、良い方に働くか悪い方に働  
くか、非常に判断に苦しむところです。いずれにしろ、ミンダナオは騒然としているようです。

新聞記事はカットしております。

#### 【海外からの日食ツアー】

スカイ・アンド・テレスコープ誌に数ヶ月前から出ている広告では、セレベス海で観測する  
ツアーがあります。バンコックで乗船して、ホンコンで下船する16日間のクルーズです。日  
本からこれに乗船される方もいらっしゃるようです。

連絡先は、World of Oz,Ltd, 20E 49thst, New York, NY10017  
費用は、\$ 2 3 7 8 とのことです。

また、木村精二氏から以下の情報を得ました。

英国発着のツアーを2本おしらせします。イギリス天文協会（BAA）のジャーナル今年の8月号に広告として載っていたExplorers Travel Club 主催のものです。目的地は、  
best combination of comfortable and economical travel arrangements—  
with the highest probability of clear skies、しかも、ホテルが少なく需要が多いので早く申し込まないと・・・という決まり文句がついています。

☆フィリピン（Talikud 島）

同行講師パトリック・ムア博士。観測地はダバオ湾のヤンに囲まれた小島。3月12日ロンドン出発、費用£850（約20万円）。

☆スマトラ（Bangka 島）

同行講師ヘザー・クーバーさん。観測地は同島のPangkalpinang という町。ロンドン出発3月14日、£650（約16万円）。

問合せは主催者（5 Queen Anne's Court, Peascod St., Windsor, SL4 1DG, ENGLAND）へどうぞ。